

◆巻頭言◆

環境調査センターの新たな船出

愛知県環境調査センター 所長 戸澤 範行



今年度から、2か年にわたり全環研協議会東海・近畿・北陸支部支部長の任にあたります、愛知県環境調査センターの戸澤です。

日頃から皆様の多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、共同研究や研究発表会などにおいてさらなるご協力のほどお願い申し上げます。

さて、本環境調査センターは、愛知県の環境行政を科学的・技術的に支える調査・研究機関として昭和45年に設置されましたが、老朽化に伴い、施設の建替えを進めています。今年度は旧施設を取り壊すとともに、新しい再生エネルギー活用施設等を設置し、2020年4月にはフルオープンとなる予定です。

新施設は、公共施設で全国トップクラスの省エネルギー施設を目指しており、建築物省エネルギー性能表示制度に基づきZEB(Nearly ZEB)の認証を2018年11月に受けることができました。ここでは、太陽光発電システム、太陽熱集熱システムなどの再生可能エネルギーを利用できるシステムを取り入れるとともに、高効率冷暖房設備、LED照明、人検知センサーによる照明制御、ビルエネルギー管理システムなどの省エネルギー施設を有しており、建築面においても高断熱ガラス、自然換気、地中熱利用、壁面緑化等を採用し、高い省エネルギー率を実現しています。

また、こうした新エネ・省エネ技術等の普及拡大を促進するため、新エネ・省エネ設備や建築技術の見学ルートを設定することとしています。併せて、小中学生が環境問題について学習する講座や実験、展示を行うことができる施設ともしています。さらに、県産木材やリサイクル材を積極的に利用するなど、地球環境にも配慮しています。

発足当初は、大気汚染や水質汚濁などの公害調査、環境調査が主でしたが、アスベスト、フロン類、ダイオキシン類、PM2.5、環境放射能といった新しい物質の分析が加わるとともに、地球環境問題、自然環境の保全のための調査など新たな業務に対応してきました。

最近の話題では、地球温暖化対策の一環として、環境調査センター内に愛知県気候変動適応センターを、本年

3月22日に設置いたしました。ここでの業務としては、県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析や事業者や県民等への情報提供のほか、市町村等に対し、適応策を推進するための技術的助言等を行ってまいります。また、毎月発行している環境情報誌「環境かわら版」に、愛知県気候変動適応センターだよりを掲載し、気候変動適応策などの情報を発信しています。

環境問題は、地球温暖化のように地域だけでなく地球規模での課題も多くなっており、これまで以上に各地区の地環研の協力が必要になってくるのではないのでしょうか。支部活動や全環研の活動を通じて、皆様と協力して取り組んでいきたいと存じます。今後ともご指導よろしくお願いいたします。



完成予想図